

●L端子検出へ変更

⚠ 注意

ディーゼル車は必ずL端子検出へ変更して下さい。



車両によって車室内からL端子線を接続出来るお車もあります。詳しくは技術サービスまでお問い合わせ下さい。

⚠ 注意

接触不良がおきない様に確実に取り付けて下さい。

⚠ 注意

灰色線がボディの金属部分に触れると、ショートを起こし車両故障の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意

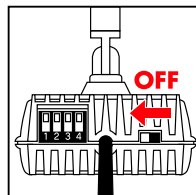
一部の車両で、モードスイッチの2番をONにしない場合もあります。専用ハーネス付帯の取付説明書を良くお読みになり、正しく設定をして下さい。

- エンジンは始動しているのに数秒で停止してしまい、自動的に再始動(リトライ)が行われてしまう場合、又はエンジンは始動していないのにメーターパネルが点灯したままになる場合、L端子検出へ変更する事で、エンジン始動をより確実に行う事が出来ます。(動作確認後、必要な場合のみ変更して下さい。)

STEP-1

- 一旦アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

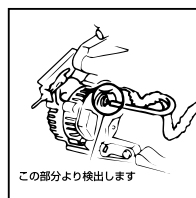
フットブレーキ配線等を行った車両は、安全センサーケーブルが本体に接続されているので、一旦外して下さい。



STEP-2

- 車両のオルタネーターから出ているL端子線を探します。

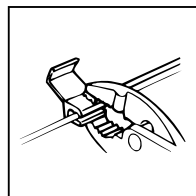
L端子線とはイグニッションONの時1~3V、エンジン駆動中12~14Vになる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)



STEP-3

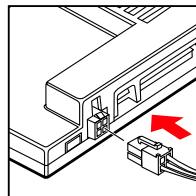
- 安全センサーケーブルの灰色線を接続します。

付属の安全センサーケーブルの灰色線を、車室内からエンジンルームに引き込み、オルタネーターから出ているL端子線に、付属のエレクトロタップで接続します。



STEP-4

- 安全センサーケーブルを本体に接続します。



STEP-5

- モードスイッチの2番をONにします。

OK

以上でL端子検出への変更は終了です。

パワースイッチをONにしてリモコンで問題なくエンジン始動出来る事を確認して下さい。

